

シンポジウム「法における『公と私』の関わりーその多面的位相」の開催について

1. 主 催 日本学術会議 法学委員会「法における公と私」分科会

2. 日 時 平成 20 年 7 月 5 日（土）13：00 ～17：00

3. 場 所 上智大学法科大学院（千代田区紀尾井町 7－1）

4. 次 第

開催趣旨

法学の様々な領域において「公と私」という視点からどのような問題が析出されるかを具体的に提示し、それらを通じて、法における「公と私」の問題の所在を探ることがシンポジウムの趣旨である。当分科会の審議の成果の発表である。

開会あいさつ：広渡清吾（東京大学教授、日本学術会議会員）

I 講 演（13：15 ～16：00）

- 1) 企画趣旨説明：吉田克己（北海道大学教授、日本学術会議連携会員）
- 2) 民法学からみた公法と私法の交錯・協働・融合：吉村良一（立命館大学教授、日本学術会議連携会員）
- 3) 官（公）と民の役割分担ー行政活動をめぐる最近の変化：小幡純子（上智大学、日本学術会議連携会員）
- 4) 「パブリック」が「プライベート」となるとき：紙谷雅子（学習院大学、日本学術会議連携会員）
- 5) 私と公ーフランス法の視点から：滝澤 正（上智大学、日本学術会議連携会員）
- 6) 女性と「公と私」：神長百合子（専修大学、日本学術会議連携会員）
- 7) ローマの「res publica」と公共的弁論について：平野敏彦（広島大学、日本学術会議連携会員）

II 討論など（16：00 ～17：00）

閉会あいさつ：浜川清（法政大学教授、日本学術会議連携会員）

【お問い合わせ先】

日本学術会議事務局第一部担当 高橋

E-mail:s251@scj.go.jp

Fax: 03-3403-1640

参加費無料、事前の申込みは必要ありません。

法における「公と私」の関わり ——その多面的位相——

日本学術会議 法学委員会「法における公と私」分科会主催 シンポジウム

日時 2008年7月5日(土曜日) 13時～17時
場所 上智大学法科大学院・上智大学四谷キャンパス2号館2階210号

J R,地下鉄 四谷駅前：2号館は正門を入れて左手の白い高層の建物。
正門は、真田堀沿いのイグナチオ教会の次の門です。
新宿通に面した北門は土曜日は閉鎖中なので注意してください。

企画趣旨説明

吉田克己（北海道大学教授・日本学術会議連携会員）

報告テーマと報告者

- ・ローマの「res publica」
平野敏彦（広島大学教授・日本学術会議連携会員）
- ・私と公——フランス法の視点から
滝澤正（上智大学教授・日本学術会議連携会員）
- ・民法学から見た公法と私法の交錯・協働・融合
吉村良一（立命館大学教授・日本学術会議連携会員）
- ・官（公）と民の役割分担—行政活動をめぐる最近の変化
小幡純子（上智大学教授・日本学術会議連携会員）
- ・「パブリック」が「プライベート」となるとき
紙谷雅子（学習院大学教授・日本学術会議連携会員）
- ・女性と「公と私」
神長百合子（専修大学教授・日本学術会議連携会員）

討論

問い合わせ先

日本学術会議事務局
高橋・藤本

Tel. 03-3403-5706, Fax 03-3403-1640
Email: s251@scj.go.jp

